

# 小山市小中一貫校(乙女中学区)推進委員会会報 第2号



このたびの台風 18 号による大雨被害により被災された皆様に、心よりお見舞い申し上げます。

## ● 第2回推進委員会の結果概要

2回目の会議が、8月20日(木)にしらさぎ館で開催されました。今回は小山市の進める小中一貫教育の目標や進捗状況、小中一貫教育の成果と課題について事務局の説明がありました。

また、乙女中学校からは、乙女中学区としてのこれまでの小中一貫教育に関する取り組みについて報告がありましたので、それぞれの内容について地域のみなさまにお知らせいたします。2ページ以降に記載いたしましたのでご覧ください。



第2回 会議の様子

### 【第2回推進委員会で出た主な意見や質問等】

- ① 乙女中学区で小中一貫校を導入した場合の課題を知りたい。  
→ 隣接する寒川小、間々田小、間々田東小から進学する生徒への対応が課題になる。
- ② 今後配布予定の児童の保護者が回答する分のアンケート調査については、世帯主ではなく、保護者が回答するようにしてほしい。  
→ 保護者に回答いただけるよう、送付する際の宛名や添書で工夫する。
- ③ アンケート回答者に対して小中一貫教育等について丁寧に説明してほしい。  
→ 参考資料として、アンケート配布書類の中に、小中一貫校の推進や学校の適正配置等に提言書の概要を同封する予定である。

## ● アンケート調査のお願い

10月中旬頃、乙女中学区における今後の学校のあり方について、地域の皆さまのご意見をお聞きするため、アンケートを実施いたします。対象者は以下の通りです。皆さまのご理解とご協力をどうぞよろしくお願いいたします。

《対象者》

- ① 乙女中学区内に住所がある小学生以下の児童の保護者(約550世帯)
- ② 小規模特認校制度を利用して通学されている児童の保護者
- ③ 乙女中学区内に住所があり、①以外の世帯の世帯主(①と同数の約550世帯を無作為で抽出)

※前回の会報で9月にアンケート調査を実施とお知らせしましたが、今回の大雨により特に生井地区において被害が多く発生したため、アンケート調査を延期することとなりました。

## ● 今後の推進委員会の開催予定

今回実施するアンケート調査の結果を受け、推進委員会で今後の学校の在り方を検討していきますので、アンケート調査結果がまとまり次第開催する予定です。

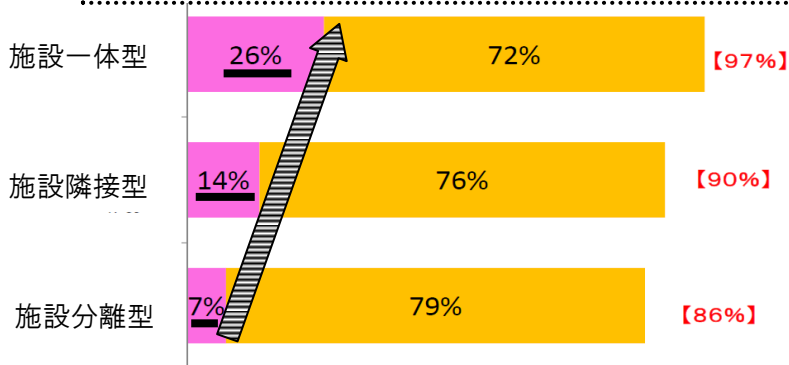
また、次回の会報は皆さまにご回答いただいたアンケート結果をお知らせする予定です。

● 小中一貫教育の成果と課題【第1回(全3回に分けて紹介します)】 文部科学省の調査結果より

小中一貫教育を実施している全国の国公立小・中学校に対し、平成26年5月に文部科学省がおこなった小中一貫教育の実態調査では、以下のような結果がみられました。皆様には、全3回に渡り、小中一貫教育の成果と課題についてお知らせいたします。

小中一貫教育における成果

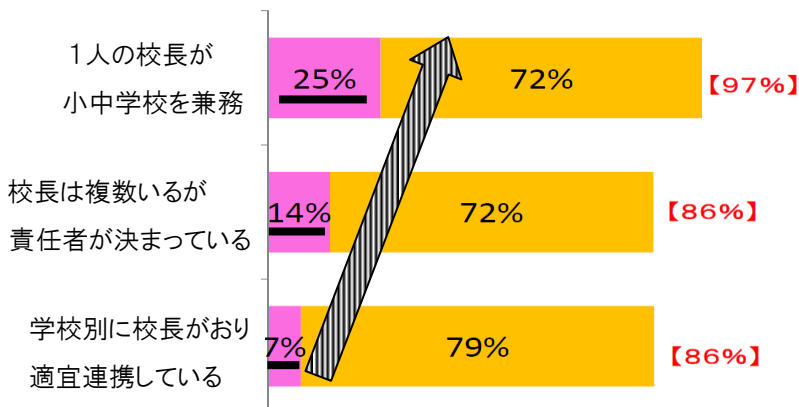
「施設形態」と「小中一貫教育の成果」の関係



小学校と中学校の施設が近くにあるほど、小中一貫教育の成果がより上がると考えられます。

「大きな成果あり」と答えた割合について、小学校と中学校の施設が近いほど大きくなっているのがわかります。

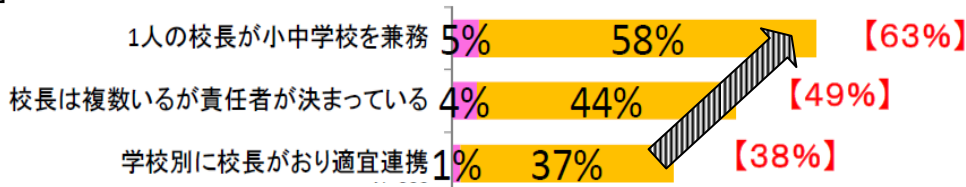
「校長の体制」と「小中一貫教育の成果」の関係



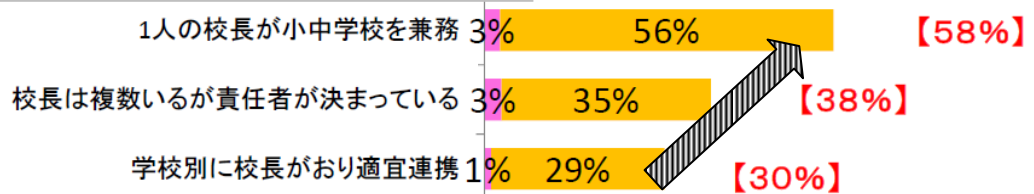
1人の校長が小学校と中学校を兼務した方が、校長が複数いる場合や小学校と中学校の校長が別々である場合よりも、小中一貫教育の成果がより上がるという結果がでています。

また、ア・イのグラフからも分かるように、1人の校長が小学校と中学校を兼務した方が、学力の面においても向上したという結果となっています。

ア 全国学力・学習状況調査の結果が向上した



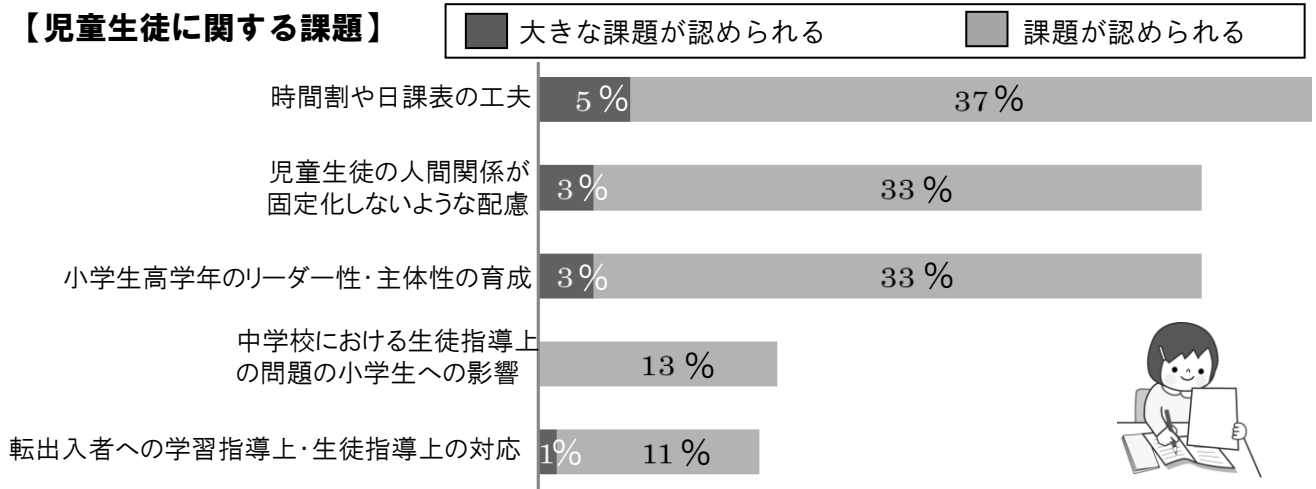
イ 民間の標準学力検査の結果が向上した



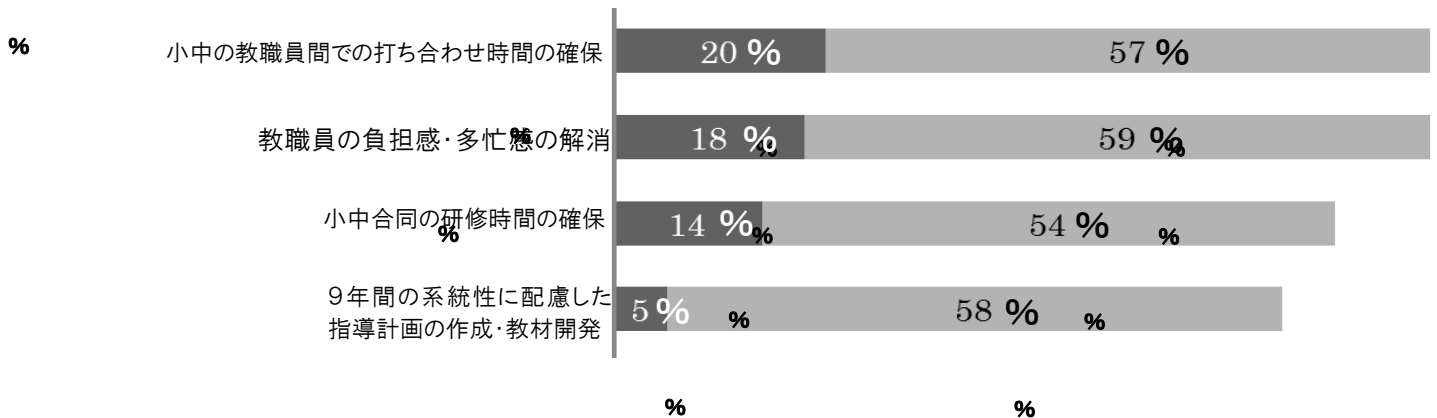
## 小中一貫教育における課題

ここでは、課題として認められる割合の高い項目について「児童生徒に関する課題」と「教職員に関する課題」に分けてご紹介します。

### 【児童生徒に関する課題】



### 【教職員に関する課題】



## 小中一貫教育と地域とともにある学校づくり

### ★「小中一貫教育を推進する上での学校運営協議会の在り方について」(文部科学省より)

小中一貫教育の推進に当たって、教育の継続性や質を担保していくためには、小中一貫教育に適した教職員体制の構築はもとより、地域住民の存在が大きな役割を果たす。

すなわち、地域全体の理解・協力が得られるかどうかは、小中一貫教育の成否に大きな影響を与えると考えられる。



「育てたい子ども像」を学校・保護者・地域で共有し、共創の教育(学校・地域が共に手を取り合って創る教育)を行っていくことが必要とされています。

## ● 乙女中学区での小中一貫教育に関する取り組み

### ◎乙女中ブロックの目指す児童生徒像

聡く、優しく、健やかな児童生徒

## 知・徳・体

### 自己指導能力の育成

「存」…児童生徒に自己存在感を与えること

「共」…共感的な人間関係を与えること

「決」…自己決定権の場を与え自己の可能性の開発を援助すること

### ◎乙女中学区では、小中一貫教育に関して以下のような取り組みを行っています

- (1) 出前授業  
(乙女中学校から各小学校へ)
- (2) 小中合同奉仕活動



- (3) 吹奏楽部の交流(乙女中学校と下生井小学校)



- (4) 乙女中合唱コンクールへの招待(乙女小6年生)
- (5) 新入生オリエンテーション(中学校の授業体験・部活動見学)
- (6) 小中合同交流活動 アシスタント学習実施(乙女中学校と乙女小)

→乙女中学校の生徒が乙女小学校に出向いて授業のアシスタントなどを行いました

